2017年４月17日（月）

第56期（2017年３月期）
決算説明会

（2016年４月１日～2017年３月31日）

代表取締役社長	最高経営責任者（CEO）	保木　潤一
常務取締役	営業本部長	山本　幸雄
経営企画部	広報課	山下　洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

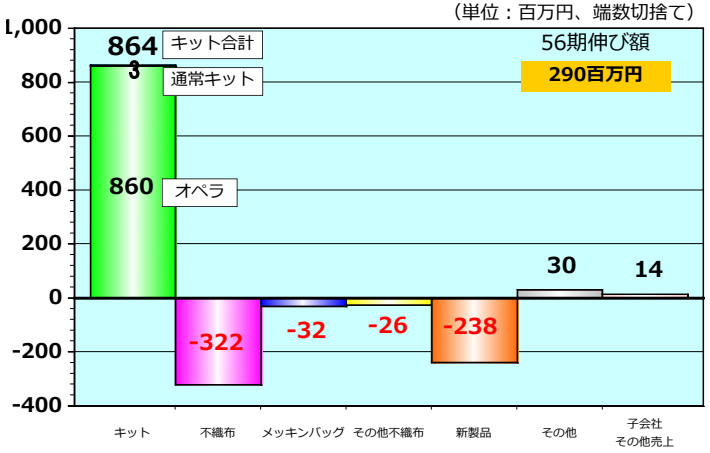
業績の概要

第56期（2017年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売　上　高	36,568		36,859		290	100.8%
営　業　利　益	8,784	24.0%	7,443	20.2%	△1,341	84.7%
経　常　利　益	8,924	24.4%	7,403	20.1%	△1,520	83.0%
親会社株主に帰属する当　期　純　利　益	5,910	16.2%	5,786	15.7%	△124	97.9%
E　P　S	375.81円		369.06円			

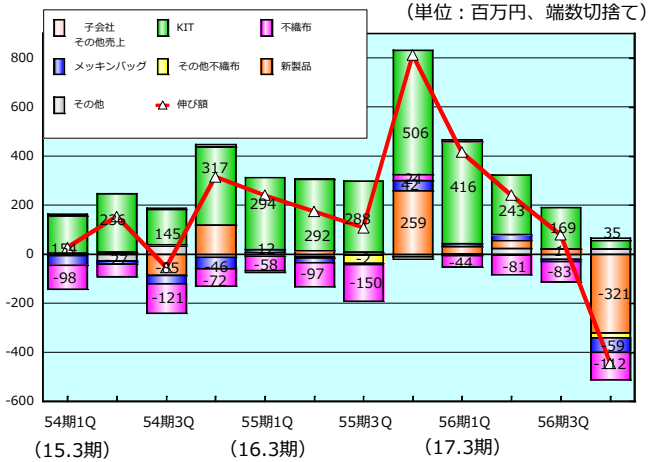
第56期（2017年３月期）主な製品の売上高伸び額

（単位：百万円、端数切捨て）



第56期（2017年３月期）四半期別売上高伸び額の内訳

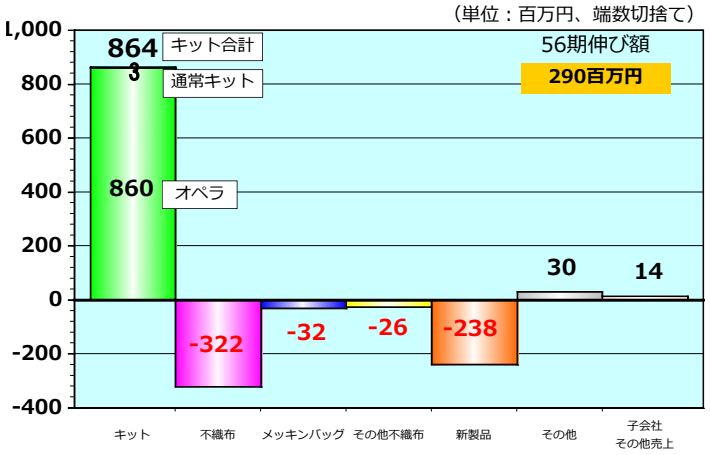
（単位：百万円、端数切捨て）



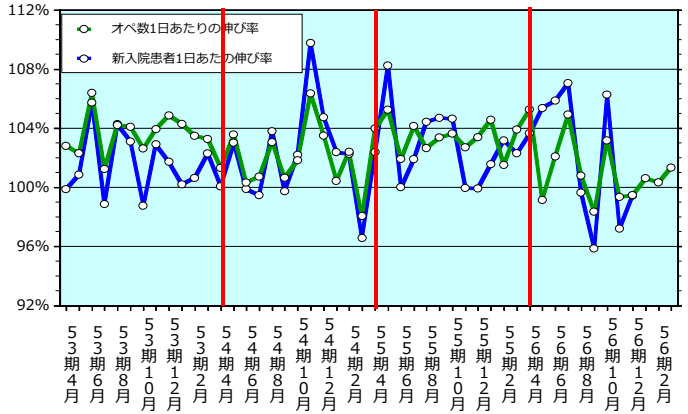
第56期（2017年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売　上　高	36,568		36,859		290	100.8%
営　業　利　益	8,784	24.0%	7,443	20.2%	△1,341	84.7%
経　常　利　益	8,924	24.4%	7,403	20.1%	△1,520	83.0%
親会社株主に帰属する当　期　純　利　益	5,910	16.2%	5,786	15.7%	△124	97.9%
E　P　S	375.81円		369.06円			

第56期（2017年３月期）主な製品の売上高伸び額



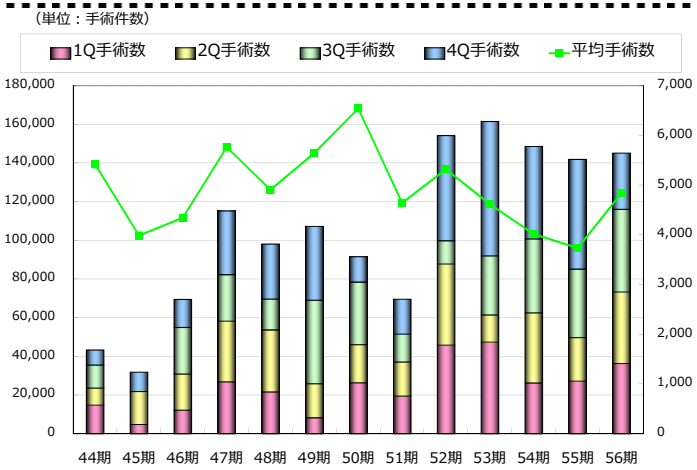
オペラマスター病院 手術件数の伸び率と新入院患者の伸び率/日



第56期（2017年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,568		36,859		290	100.8%
営業利益	8,784	24.0%	7,443	20.2%	△1,341	84.7%
経常利益	8,924	24.4%	7,403	20.1%	△1,520	83.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,910	16.2%	5,786	15.7%	△124	97.9%
EPS	375.81円		369.06円			

オペラマスター契約の手術件数推移



第56期（2017年３月期）ポイント

- オペラマスターは、新規契約数が30施設、解約が13施設
- 契約病院の半数がⅠ群、Ⅱ群病院
- **プレミアムキットの臨床試用を6月末より開始し318病院で臨床試用**
- オペラマスター施設で個人情報の漏洩
- オペラマスター立上げ、プレミアムキット販売、新製品販売と営業力が分散し新規販売に遅れ
- 新工場の償却費用と為替の影響を受け原価が上昇
- 保有有価証券の一部売却による特別利益が発生

第57期（2018年３月期）経営計画

第57期（2018年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	17.3 56期実績		18.3 57期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売　上　高	36,859		38,540		1,680	104.6%
営 業 利 益	7,443	20.2%	5,300	13.8%	△2,143	71.2%
経 常 利 益	7,403	20.1%	5,410	14.0%	△1,993	73.1%
親会社株主に帰属する当 期 純 利 益	5,786	15.7%	5,160	13.4%	△626	89.2%
E　P　S	369.06円		329.69円			

今後の施策

「増収、減益計画」

■営業力を集中投下

- 営業部門の組織変更
- プレミアムキットの拡販（オペラ立上げ施設含む）
- 提案力の強化
- オペラマスター新規獲得（Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群上位獲得継続）
- 新製品は「営業管理部が提案から販売まで」

■プレミアムキットの進化

- お客様と「共同研究講座」開始

「新工場５月初旬稼働開始」

- 「段階的な立上げ」「順次筑波工場より生産シフト」
- 償却額の増加、為替の影響で原価の高騰

■ 増収に必要な費用、社員教育の費用が増加

- 見本費、人件費、教育訓練費、広告宣伝費等
- 情報管理体制の強化

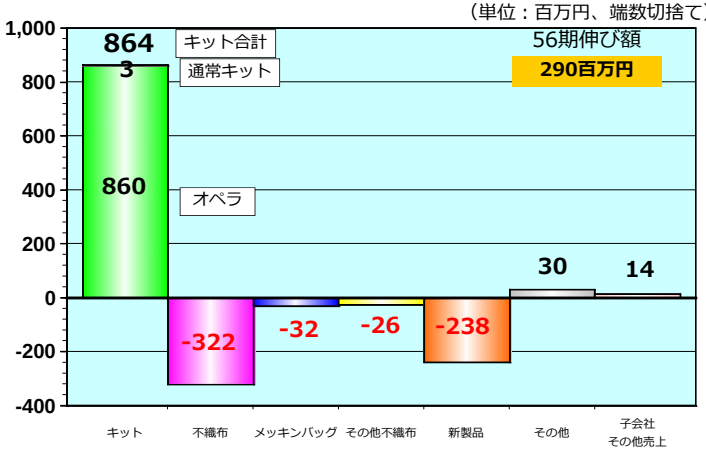
■ P.T.HOGY INDONESIAの生産性改善

- ✓ 省力化、自動化推進（人件費が今後も増加傾向）
- ✓ インドネシア国内の販売強化
- ✓ 材料の内製化

第56期(2017年３月期)　売上高

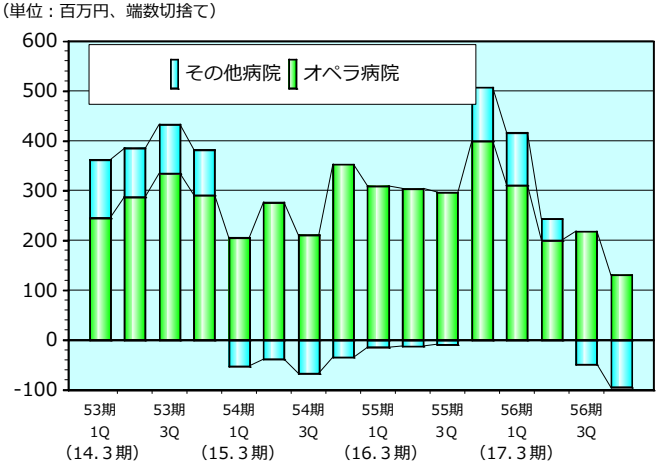
第56期（2017年３月期）主な製品の売上高伸び額

（単位：百万円、端数切捨て）

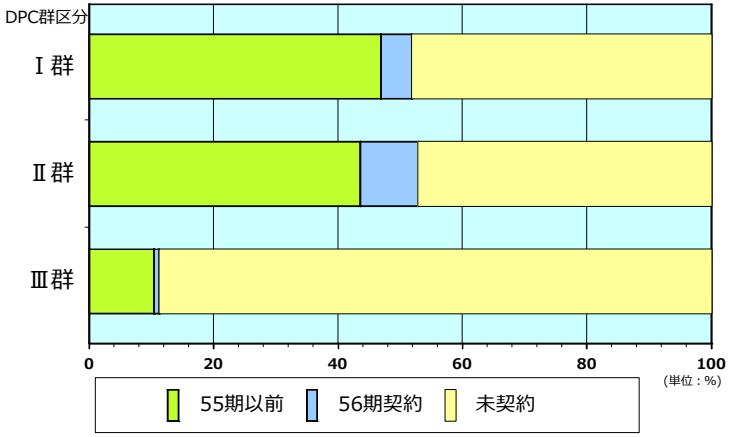


キット売上高推移

（単位：百万円、端数切捨て）



オペラマスター　群別契約割合



＊DPCの病院区分は2016年度時点

オペラマスター進捗状況

売上高：14,561百万円（+860百万円：106.3%）

56期契約施設数：

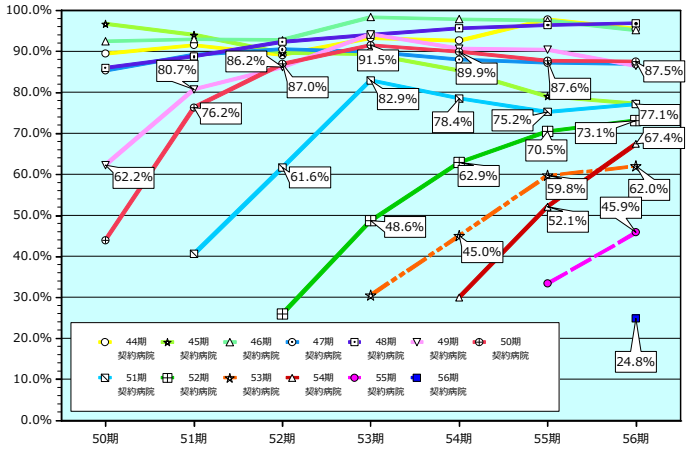
新規：30施設

- DPC Ⅰ群施設　：　4施設
- DPC Ⅱ群施設　：　13施設
- DPC Ⅲ群施設　：　13施設

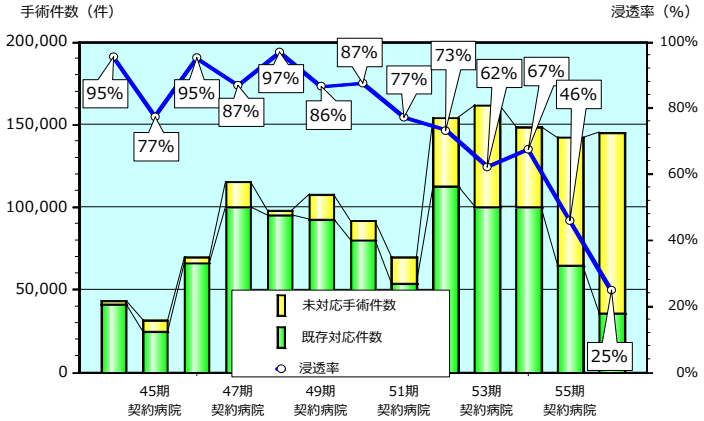
解約：13施設

累計契約施設数：289施設

オペラマスター浸透率・手術件数（契約期別）



オペラ契約病院　浸透率推移



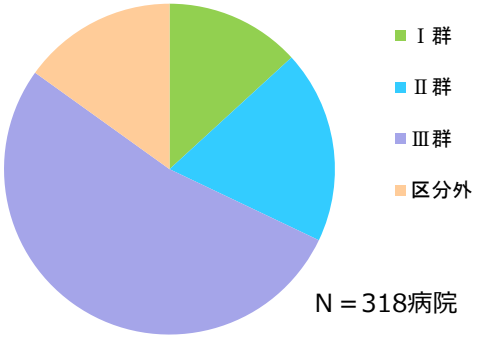
*契約、解約病院数は2017年3月末現在の状況

販売戦略の状況

56期戦略	現状	評価
大型病院のオペラマスター契約	契約いただいた病院でのオペ数は例年通り	○
オペラマスター契約病院の立上げ	立上げ予定病院の遅延	△
プレミアム・ブリスターキットの認知度向上及び販売強化	臨床試用病院と販売消費先は順調に増加	△
EMAROの拡販	販売台数3台	×
手術管理システムの販売	契約予定病院が延期	×

プレミアムキットサンプルの実施状況

Ⅰ群、Ⅱ群の約５割にサンプルを実施



N＝318病院

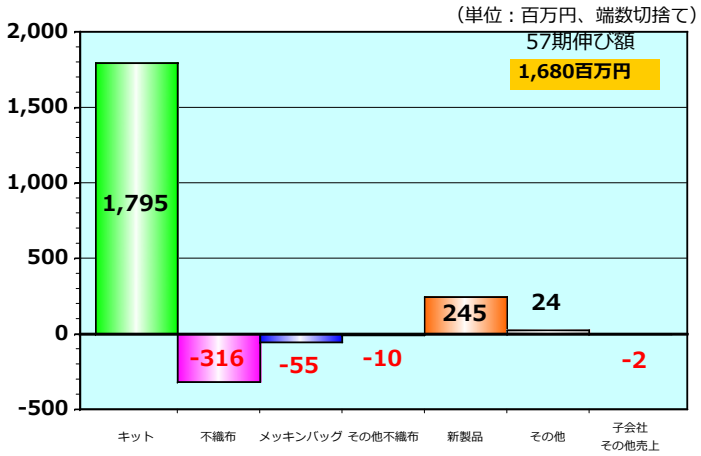
56期売上高　ポイント

- 大型病院で順調に契約が進む：
  （DPC Ⅰ群：４施設　DPC Ⅱ群：13施設　DPC Ⅲ群：13施設）
- ９月以降手術件数の増加が１％台に減少（前年は3.5%）
- オペラマスター施設にて情報漏洩
- 営業力の分散によるオペラマスターの立上げ遅れ
- 内視鏡用ホルダＥＭＡＲＯ３台販売、56期で87病院（累計125病院）での臨床試用を実施
- プレミアムキット臨床試用を６月末より開始し、318病院で臨床試用（マスター設計済み356施設）
- 手術管理システム契約予定病院が延期

第57期(2018年３月期)　売上高計画

第57期（2018年３月期）主な製品の売上高増減額

単位：百万円 切捨て	17.3 56期 実績	18.3 57期 計画	前年比 増減額	前年比 増減率
キット	21,124	22,920	1,795	108.5%
不織布	9,406	9,090	△316	96.6%
メッキンバッグ	2,665	2,610	△55	97.9%
その他不織布	1,390	1,380	△10	99.3%
新製品	224	470	245	209.4%
その他	1,965	1,990	24	101.2%
子会社その他	82	80	△2	96.5%
合計	36,859	38,540	1,680	104.6%



第57期（2018年３月期） 売上高計画

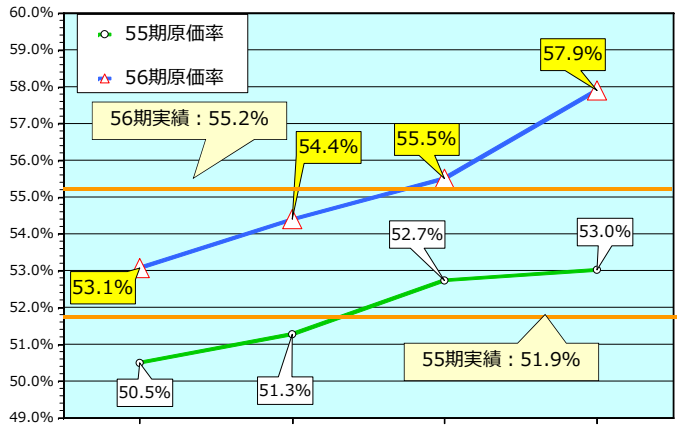
- プレミアムキット製品の販売拡大に営業員の戦力を集中
  - 医療機関との効果検証の実施
  - 学会活動、工場見学を積極的に推進
  - プレミアムキット販売推進を行うためのインセンティブに変更
  - 社員教育によるスキルアップの実施
- ＤＰＣ病院のⅠ群、Ⅱ群、Ⅲ群上位施設へのオペラマスター提案強化
- EMAROおよび手術管理システムの販売は営業管理部が専属として行う

業績の詳細

第56期（2017年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	16.3 55期実績		17.3 56期実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,568		36,859		290	100.8%
売上原価	18,984	51.9%	20,355	55.2%	1,371	107.2%
売上総利益	17,583	48.1%	16,503	44.8%	△1,080	93.9%
販売費及び一般管理費	8,799	24.1%	9,060	24.6%	261	103.0%
営業利益	8,784	24.0%	7,443	20.2%	△1,341	84.7%
営業外損益	139		△39		△179	
経常利益	8,924	24.4%	7,403	20.1%	△1,520	83.0%
特別損益	△180		1,018		1,199	
親会社株主に帰属する当期純利益	5,910	16.2%	5,786	15.7%	△124	97.9%
EPS	375.81円		369.06円			

原価率推移



第56期（2017年３月期）利益　分析

原価率：前年比　3.3%増加

- 新工場建屋及び機械取得による償却費の上昇
- 海外取引の際の円安影響

販管費：前年比　261百万円増

設備投資：6,649百万円（前期比：2,431百万円減）

償却：4,409百万円（前期比：1,033百万円増）

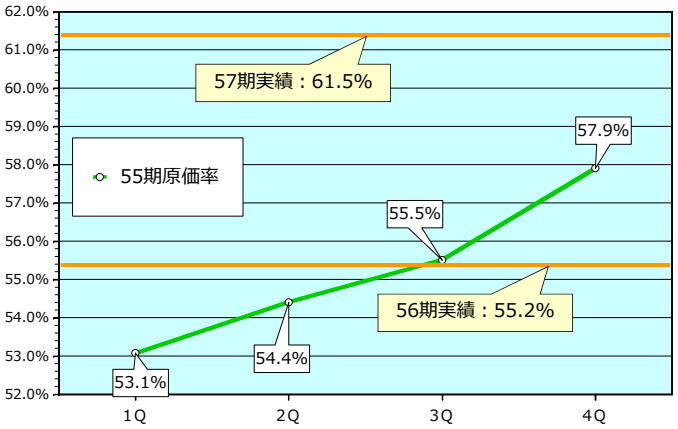
- 原価　：3,402 百万円（前年比：1,071百万円増）
- 販管費：1,007百万円（前年比：37百万円減）

第57期(2018年３月期)詳細計画

第57期（2018年３月期）損益計算書

単位：百万円 切捨て	17.3 56期実績		18.3 57期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,859		38,540		1,680	104.6%
売上原価	20,355	55.2%	23,720	61.5%	3,364	116.5%
売上総利益	16,503	44.8%	14,820	38.5%	△1,683	89.8%
販売費及び一般管理費	9,060	24.6%	9,520	24.7%	459	105.1%
営業利益	7,443	20.2%	5,300	13.8%	△2,143	71.2%
営業外損益	△39		110		149	
経常利益	7,403	20.1%	5,410	14.0%	△1,993	73.1%
特別損益	1,018		2,000		981	
親会社株主に帰属する当期純利益	5,786	15.7%	5,160	13.4%	△626	89.2%
EPS	369.06円		329.69円			

第57期（2018年３月期）　利益　計画



原価率　：前年比6.3%増加　新工場償却費の増加

販売管理費：前年比459百万円増

見本費、人件費、教育訓練費等会社の成長に必要な費用に特化

設備投資　：2,590百万円（前期比：4,059百万円減）

償却　：6,395百万円（前期比：1,986 百万円増）

・原価　：　5,440百万円（前年比：2,038百万円増）

・販管費　：　955百万円（前年比：　52百万円減）

配当　：124円（前期比：＋4円）

2017年４月17日（月）

第56期（2017年３月期）
決算説明会

（2016年４月１日～2017年３月31日）

代表取締役社長	最高経営責任者（CEO）	保木　潤一
常務取締役	営業本部長	山本　幸雄
経営企画部	広報課	山下　洋

HOGY MEDICAL Co., Ltd.